カレッジ旭川荘の専門課程スタート。
作業訓練の授業でメモ帳づくりに取り組む3年生（3面に関連記事）

旭川荘だより

vol. 250

2019.07.01 発行

CONTENTS

P2　共楽コンサート開催
P4-5　30年度事業報告・決算報告
P6　製品カタログ　6年ぶりに改訂
P8　祇園、ひらたで清掃奉仕

発行／社会福祉法人 旭川荘
〒703-8555 岡山市北区祇園866
TEL 086-275-0131 FAX 086-275-5640
http://www.asahigawasou.or.jp

「ふくのいち」開催。買い物を楽しむ人たちでにぎわった（6面に関連記事）

「令和」時代、新たな中国との交流を

理事長　末光　茂

6月11日から3日間、上海市障害者連合会の招待を受け、2年ぶりに上海市を訪問しました。

障害者連合会は、平成2年から20回、約2,000人の上海訪問を実現できた「福祉の翼訪中団」など、お世話になってきた縁の深い公的団体です。

その連合会が設置した「上海市陽光リハビリセンター」を訪問しました。上海市を中心に江蘇省、浙江省、安徽省に及ぶ長江デルタ地域（人口約1.5億人）のリハビリ分野の基幹病院です。

現在360床ですが、近年中の第二期工事で1,000床にする計画です。その参考にと、昨年、副院長以下6人が、川崎医科大学と旭川荘を視察しています。

先進技術と機器を積極的に導入し、チームでリハビリに当たる姿に感銘を受けました。ただし児童期のリハビリは、規模も人材も比較的小さく、特に自閉症への対応が緒についたばかりで、旭川荘に協力を求められました。

別の日、上海市内の自閉症児・者の社会活動の場「愛カフェ」も訪問しました。学習と音楽、スポーツ、絵画活動に力を入れており、皆が生き生きと活動していました。しかし、このような自閉症に特化した「居場所」は、上海でもまだまだ数が限られるようです。代表の曹小夏さんは、「上海トモニー」を訪問した縁から、旭川荘との交流に期待を寄せました。

川﨑祐宣先生は、国交が回復していない時期から医療関係者と交流し、中国の医療の発展に尽力してこられました。その川﨑先生の意を受けて、江草安彦先生は福祉全般、特に障害者と高齢者介護分野で、上海市との交流を深められました。

「令和」の時代は、自閉症をはじめとする障害児リハビリ等の面で交流を深めていくことになるかもしれない。そんな予感を強くした3日間でした。

第2回共楽コンサート 川﨑さんのピアノ演奏で“本物”を体験

ピアニストで第1回グラチア音楽賞を受賞した川﨑翔子さんによる「共楽コンサート」が6月7日、旭川荘療育・医療センターの多目的ホールで開催され、旭川荘厚生専門学院の学生や旭川荘施設の利用者、職員など約80人が川﨑さんの奏でるピアノの音色に聴き入りました。

共楽コンサートはグラチア・アート・プロジェクト（旭川荘だより244号参照）の一環で、医療福祉の職場を目指す学生や現在現場で活躍している職員を音楽で癒し、今後の活力となるような場を提供しようと、同プロジェクトを提唱した瀧井敬子さん（元東京藝術大学特任教授）の発案で企画され、昨年の10月に続き2回目の開催。演奏者の間近で生の音楽に触れてもらおうとステージは設けず、ピアノを囲むように座席を配置しました。

瀧井さんは共楽コンサートへの思いを「今現在、世界で活躍している一流の音楽家の音を直接皆さんの感性に届けたい」と話し、川﨑さんは「このように近距離で聴いてもらうことはあまりないので緊張する。アットホームな雰囲気で楽しんでもらえれば」と挨拶しました。

川﨑さんは演奏の合間に曲紹介と注目してほしいポイントなどを解説しながら、ショパンの練習曲作品25より5曲と幻想即興曲などを披露。情感あふれる演奏で聴衆を魅了しました。

また、旭川荘厚生専門学院児童福祉学科2年の山本麻以さんと映画「美女と野獣」のテーマ曲「Beauty and the Beast」を連弾。この日合わせたばかりとは思えない息の合った演奏で会場を沸かせました。

真剣な面持ちで連弾を披露する山本さん（手前）と川﨑さん（奥）

学生や利用者に囲まれて演奏する川﨑さん

カレッジ旭川荘専門課程（就労移行支援）スタート
教養課程（自立訓練）を基礎に2年間で就職目指す

カレッジ旭川荘では本年度から3年生8人を対象に専門課程（就労移行支援事業）を開始しました。これまで1、2年生で行ってきた生活力や社会性を身につける教養課程（自立訓練事業）を踏まえて、就労を目標とした2年間の支援で職業意識や技術を身に付け、卒業時の就職を目指します。

カレッジでは就労移行支援を始めるにあたり、1、2年時に学んだことを基礎に、より職業人としてのスキルを身に付けられるよう作業や実習、ビジネスマナーを盛り込んだカリキュラムを編成しました。働くうえで求められる行動（例：報・連・相等）の意味や必要性、社会人としてのルールを学び、企業の見学実習を取り入れながら、グループ実習、個別実習へと段階を踏んで、就職につなげる狙いです。指導に当たる支援教員もふだんから敬語や丁寧語で話すなど、これまでの“親しい間柄の先生”とはあえて一線を引き、職業人として社会に出て行く意識付けを行っています。

コメリ岡山流通センターで配送作業の説明を聞くカレッジ生たち

サポートツール活用し作業

取材に訪れた6月5日の作業訓練の授業。最初に身だしなみをチェックした後、個人の目標を発表、作業工程を確認します。この日の課題はA4の用紙を四つ切りにして40枚そろえ、一辺を糊付けする「メモ帳製作」。紙の裁断を終えたところで“上司”の支援教員に報告し、支援教員は紙の裏表の向きや枚数などを確認、不備な点があれば「やり直し」を指示します。やる気を引き出すよう「丁寧にできていますね」「前回よりきれいに切れています」などの声掛けのほか、「前回よりもきれいにできたのはなぜですか」と自分自身の成長に気づいてもらうような問いかけをするのもポイント。それぞれの障害特性を考慮しながら、出来るまで頑張れるよう粘り強く向き合います。

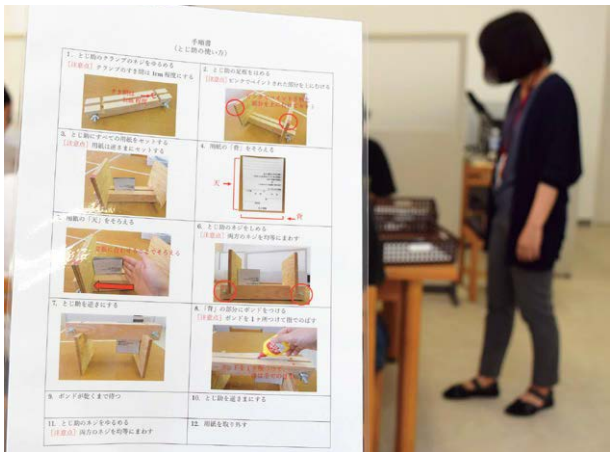
また口頭で指示されることが苦手な人も多いため、工程に番号をつけてホワイトボードに書き出すなど先を見通せる工夫も。さらに見本を提示して完成形をイメージしながら作ることができるようにしています。道具の使い方に迷った時には自分で確認しながら作業ができるよう手順書を用意。作業訓練では、こうしたサポートツールを活用して作業に取り組んでいます。3年生を担当する岩田直也さんは「障害特性は人によって異なる。将来的には自分にどんなツールがあれば作業がしやすいか自覚できるようになればと思い、さまざまなツールを導入している」と話します。

見学実習で見えてきた課題も

企業の見学実習も始めており、5月24日にはカレッジの近くにあるコメリ岡山流通センターを訪問。企業の担当者から職場では「安全」とともに「正確さ」「効率」を大切にしているという説明を聞き、配送や商品を仕分けする作業を見学しました。引率した3年生担任の小見山祥子さんは「見学を通して人の話を聴く時の態度や距離のとり方など、課題が見えてきた。今後も見学や実習を重ね、彼らに就職についてのイメージを持ってもらうとともに、見えてきた課題への取り組みも進めていきたい」と話します。

カレッジ旭川荘の大月政和副学院長は「入学した頃と比べると皆とても成長している。一人一人の“特性”を見極めながら、『何が得意で、どうやったら頑張れるのか』を企業側に提示し、彼らの望む就職につなげたい」と意欲を語ります。

“上司”へ報告をするカレッジ生（左）



目で確認しながら作業ができるように工夫された手順書

平成30年度事業報告および決算報告

事業報告（概要）

Ⅰ　主要事業

1. 法人本部

(1) 法人の経営組織のガバナンスの強化等
①経営組織のガバナンスの強化
・評議員会、理事会及び地域運営協議会の適切な運営
・業務執行理事体制による法人運営の推進
・法令遵守及び「内部管理体制の基本方針」に基づく事業執行
・会計監査人監査及び監事監査への適切な対応
・監査室による内部監査の実施
②事業運営の透明性の向上（財務諸表等のホームページ掲載等）

(2) 安定した経営基盤の確立等
・旭川荘10か年計画「当面3年間の実施計画（平成29～31年度）」の策定（6月）
・人事評価制度の試行実施

(3) フーズセンターの改修
新調理システム（クックチル）導入及び太陽光発電設備設置（8月21日～稼働）

2. 安全・防災

(1) 防災訓練の実施
・水防訓練　祇園地区（6月29日）、ひらた支部（6月27日）
・地震訓練　祇園地区（10月30日）、ひらた支部（31年2月19日）
・地域との連携による防災訓練　祇園地区（9月2日）

(2) 福祉避難所（旭川敬老園、旭川荘療育・医療センター、ひだまり苑、南愛媛療育センター）の受入体制の強化（備蓄物等の充実等）

(3) 西日本豪雨災害にかかる避難受入れ
中原地区の住民の皆さん約220人を学院リズム棟に受入れ。内14人は福祉避難所（旭川敬老園、療育・医療センター）に受入れ（7月6日～7日）

(4) 警察への非常通報装置、刺股を利用した防犯訓練の実施
たかはし障害者支援センター（6月8日）、わかくさ学園（7月4日）

(5) 耐震診断の実施（愛育寮 女子棟　31年2月）

(6) 西日本豪雨災害被災者の支援活動
災害派遣福祉チーム（DWAT）、岡山県介護支援専門員協会、岡山県看護協会及びAMDAの要請に基づく職員派遣（延べ35名）

3. 障害福祉分野

(1) 竜ノ口寮の耐震化建替Ⅱ期工事（31年3月20日完成）

(2) 医療看護体制強化のため医療課を新設（いづみ寮）

(3) 南予地域における発達障害児者支援強化のための発達障害者地域支援マネージャー配置（南愛媛療育センター　4月～）

(4) 後期課程（就労移行支援）に向けた建物の改修（31年2月28日完了）及びカリキュラムの作成（カレッジ旭川荘）

(5) 就労支援事業における製品の販路開拓
「ノウフク野外マルシェ」に9施設出店（6月2～3日・10月27～28日、岡山駅東口駅前広場）、「さん太マルシェ」に出店（吉備ワークホーム　10月28日）、「ふくのいち」の開催（総社市、12月15～16日）

(6) タブレット端末の導入等ICTの活用による記録業務の効率化（各施設）

(7) 利用定員の適正化（吉備ワークホーム、せとうち旭川荘、わかくさ学園、ひらた旭川荘通園センター、真庭地域センター）

4. 高齢者福祉分野

(1) 常勤医師配置による医療体制の強化（旭川敬老園）

(2) 多職種協働による看取りへの積極的な取組みと家族支援
（ひだまり苑　11件）

(3) 民生委員等との連携による地域包括ケアサービスの充実
（川上診療所　4月～6回）

(4) 高齢者の摂食・嚥下機能の回復のため摂食機能療法の実施
（北宇和病院　4月～615件）

(5) 利用者の医療ニーズに対応するため看護体制の強化（結びの杜ホーム）

5. 児童福祉分野

(1) 「ひらたえがお保育園」の建物整備（31年3月28日竣工式）

(2) 医療的ケア児の積極的な受入れ（旭川乳児院　2件）

6. 医療福祉分野

(1) 重症心身障害児者の文化芸術活動「カルチャープラザ」の充実
（旭川児童院　新たに　1講座開設　延べ486名）

(2) 訪問診療、訪問看護による在宅医療の推進（川上診療所）

(3) 南愛媛療育センターの耐震化建替の準備

(4) 南愛媛病院の病棟集約のための改修工事（31年3月）

(5) 難病患者のレスパイト受入など在宅生活の支援（北宇和病院3名）

(6) 障害者のための人間ドック開設に向けた準備（療育・医療センター）

(7) 第45回日本重症心身障害学会開催に向けた準備
令和元年9月20日・21日に岡山で開催

7. 教育・研修、研究分野

(1) 職員研修の充実
・第2回「敬愛塾」の開講（4月19日　若手職員22名参加）
・第3回「敬愛塾」の開講（11月29日　若手職員20名参加）
・第51回旭川荘障害医療福祉セミナー
（9月13～14日　荘内外137名参加）
・共生社会フォーラムin岡山
（31年1月22～23日　荘内外約170名参加）
・幹部職員研修（8月31日～9月1日　真庭市）
・新任職員研修等階層別、職能別、テーマ別研修（計27回）

(2) 総合研究所の機能強化
・特別研究部門が文部科学省の科学研究費補助金取扱規程に定める研究機関に指定（12月6日）
・知的障害児者の認知症に関するシンポジウムの開催（8月12日）
・「F・ナイチンゲール看護」に関する講演の開催（2回　42名参加）
・モンテッソーリ教育・介護に関連する研究会への参加
・第36回旭川荘医療福祉学会の開催（12月20～21日）

8. 国際協力分野

(1) 研修生（団）の受入れ（上海市6団体76名、カンボジア2名、タイ1名）

(2) ミャンマー・ベトナムからの介護留学生（6名）の受入れ

9. 文化芸術・スポーツ活動

(1) 旭川荘ミュージックアカデミーの活動（毎週土曜日）
「おかサポ10周年記念フォーラム」及び「共生社会フォーラムin岡山」にて演奏（7月28日、1月22日　ピュアリティまきび）

(2) 旭川荘アートギャラリーの活動
・第2回「きらぼし★アート展」出展
（9月29日～10月5日　旧内山下小学校）
・作品の移動展示
（中国銀行、トマト銀行、みずほ証券、共生社会フォーラムin岡山等）

(3) 障害者スポーツの振興
星野仙一杯争奪 第8回西日本肢体不自由児ティーボール交歓大会（11月11日）、第9回ボッチャ交流大会（11月24日）、卓球バレー交流大会（9月20日）の開催、第18回全国障害者スポーツ大会への参加（10月13日～15日、福井県）

10. 地域公益活動

(1) 中山間地の経済的困窮者や社会的孤立者に対する状態悪化時の搬送及び見守り等の支援（川上診療所　47件）

(2) 日用品や製品の配達時に見守り活動の実施
（望の丘ワークセンター　8件）

(3) 診断前乳幼児の親子交流・子育て相談支援を行う「さくらぽかぽか広場」（岡山市事業）への協力（さくら児童館　15回）

(4) 「健康づくり講演会」の開催
（愛媛支部　8月8日　100名、12月15日　95名）

(5) 第7回「小学生福祉体験バス」の実施（8月21日　親子6名）

(6) 認知症サポーター養成講座の開催
（結びの杜ホーム　9月23日　15名）

11. 環境福祉への取組み

(1) 第11回環境福祉フェアの開催（10月27日　結びの杜）

(2) みどりのカーテンづくり（各施設）

(3) 中原川及び周辺の環境改善
中原川環境改善プロジェクトによる清掃活動（6月14日）、アートイベント「蛍色の夕べ」の開催（10月12日）

(4) 日本園芸福祉普及協会主催のシンポジウム（6月9日）への協力

Ⅱ　内部管理体制

1　基本方針の制定（平成29年5月25日理事会）

2　運用状況の概要
経営に関する管理体制、リスク管理に関する体制、コンプライアンスに関する管理体制及び監査環境の整備に努めた。

※平成30年度事業報告の詳細については別冊「事業報告書」のとおり

《参　考》旭川荘の現況（平成31年4月1日現在）

1　施設数及び利用定員

区　　分	施　設　数	利用定員（人）
障害福祉分野	63	1,164
高齢福祉分野	8	342
児童福祉分野	5	205
医療福祉分野	8	693
教育・研修分野	3	—
合　　計	87	2,404

※ 障害福祉分野38のグループホーム（定員171人）を含む。

2　職員数の状況　2,118人（臨時職員を含む）

理事会・評議員会報告

令和元年度第1回理事会を6月3日、定時評議員会及び第2回理事会を同26日、いずれも岡山プラザホテル（岡山市中区浜）で開催しました。

第1回理事会では、平成30年度事業報告、平成30年度決算報告、定款の一部変更、定時評議員会招集など9件の議案が審議され、原案どおり承認されました。

定時評議員会では、理事及び監事の選任、定款の一部変更の議案が審議され、原案どおり承認。また、第2回理事会では、理事長の選定についてなど4件の議案が審議され原案どおり承認されました。

決算報告（概要）

平成30年度の資金収支及び事業活動は2事業（49拠点）で**別表1**のとおりです。また、貸借対照表は**別表2**、財産目録は**別表3**のとおりです。

なお、事業活動計算書を科目別にみると**別表4**に示すグラフのとおりです。

別表1

◇平成30年度資金収支及び事業活動計算書総括表（拠点区分別）◇

平成31年3月31日現在　（単位：千円）

会計区分	拠点区分名	資金収支計算書 決算額 収入	支出	当期資金収支差額	当期末支払資金残高	事業活動計算書 決算額 収益	費用	当期活動増減差額	当期末繰越活動増減差額
社会福祉事業	法人本部	1,139,164	1,102,659	36,505	301,214	882,128	720,460	161,668	668,345
	旭川療育園	438,639	424,276	14,363	211,773	438,529	431,505	7,024	△ 467,069
	竜ノ口寮	934,371	952,943	△ 18,572	140,600	750,371	690,773	59,598	138,911
	吉備ワークホーム	163,628	163,001	627	71,122	163,200	169,592	△ 6,392	86,785
	旭川学園	267,253	261,729	5,524	52,412	267,253	260,645	6,608	49,998
	愛育寮	440,449	437,001	3,448	111,290	440,401	450,460	△ 10,059	262,610
	いづみ寮	524,737	514,020	10,717	158,909	524,965	516,244	8,721	249,334
	あおば	154,177	151,018	3,159	84,153	154,116	153,039	1,077	72,202
	デイセンターあかしや	43,354	41,554	1,800	38,965	43,354	42,264	1,090	41,476
	旭川児童院	4,781,374	4,729,653	51,721	1,173,887	4,770,294	4,796,989	△ 26,695	3,560,197
	児童院通園センター	93,936	93,936	0	0	93,936	93,936	0	0
	みどり学園	94,918	92,120	2,798	70,830	94,917	91,347	3,570	67,906
	旭川乳児院	214,352	223,125	△ 8,773	57,541	214,352	221,470	△ 7,118	63,369
	旭川敬老園	594,348	617,182	△ 22,834	187,143	594,348	605,757	△ 11,409	283,637
	総合在宅支援センター	115,905	124,877	△ 8,972	46,535	115,905	126,692	△ 10,787	21,992
	グループホームはなみずき	43,490	42,908	582	16,511	43,490	42,997	493	35,473
	のぞみ寮	276,575	272,890	3,685	90,863	276,575	276,064	511	114,375
	わかば寮	294,080	293,976	104	105,377	293,048	289,499	3,549	114,697
	かえで寮	285,204	283,138	2,066	95,242	285,204	283,405	1,799	103,373
	わかくさ学園	117,228	124,781	△ 7,553	34,820	117,228	124,904	△ 7,676	35,642
	わかくさ学園いちご	66,833	63,094	3,739	23,751	66,833	63,304	3,529	24,226
	いんべ通園センター	101,726	100,420	1,306	21,775	101,722	101,121	601	28,825
	せとうち旭川荘	117,934	116,506	1,428	30,733	117,763	117,626	137	33,584
	津島児童学院	171,628	166,753	4,875	38,204	171,628	167,530	4,098	74,764
	くわのみどりの家	54,775	52,711	2,064	4,991	54,775	52,756	2,019	3,895
	三世代交流センター結びの杜	45,963	46,140	△ 177	17,202	45,662	47,134	△ 1,472	45,307
	カレッジ旭川荘	41,843	41,572	271	5,159	41,843	40,451	1,392	6,102
	かわかみ療護園	284,912	279,481	5,431	130,307	284,912	288,818	△ 3,906	243,552
	たかはし松風寮	203,879	201,655	2,224	94,378	203,879	204,004	△ 125	95,463
	松山ワークセンター	74,310	71,945	2,365	69,942	73,812	70,544	3,268	80,673
	望の丘ワークセンター	85,483	81,982	3,501	51,624	85,446	83,422	2,024	56,179
	真庭地域センター	105,099	104,600	499	31,627	105,099	109,707	△ 4,608	80,028
	南愛媛療育センター	925,028	899,177	25,851	485,435	925,028	901,244	23,784	503,507
	その他6拠点区分	183,736	181,314	2,422	39,115	183,624	189,450	△ 5,826	△ 1,219
	小計（39拠点区分）	13,480,331	13,354,137	126,194	4,093,430	13,025,640	12,825,153	200,487	6,778,139
	拠点区分間取引消去	586,896	586,896	—	—	576,896	576,896	—	—
	社会福祉事業合計①	12,893,435	12,767,241	126,194	4,093,430	12,448,744	12,248,257	200,487	6,778,139
公益事業	結びの杜ホーム	119,091	111,407	7,684	17,949	116,091	121,420	△ 5,329	△ 11,458
	川上診療所	246,518	241,022	5,496	194,172	246,518	241,716	4,802	190,662
	ひだまり苑	352,541	347,294	5,247	140,033	352,541	347,272	5,269	130,037
	南愛媛病院	411,571	377,263	34,308	254,452	411,571	363,550	48,021	301,400
	北宇和病院	740,952	740,952	0	△ 3,603	740,952	740,138	814	△ 19,283
	その他5拠点区分	88,640	91,540	△ 2,900	29,371	88,640	94,361	△ 5,721	1,904
	小計（10拠点区分）	1,959,313	1,909,478	49,835	632,374	1,956,313	1,908,457	47,856	593,262
	拠点区分間取引消去	717	717	—	—	6,931	6,931	—	—
	公益事業合計②	1,958,596	1,908,761	49,835	632,374	1,949,382	1,901,526	47,856	593,262
	合計（49拠点区分）①+②	14,852,031	14,676,002	176,029	4,725,804	14,398,126	14,149,783	248,343	7,371,401
	事業区分間取引消去	71,685	71,685	—	—	71,685	71,685	—	—
	総合計（49拠点区分）	14,780,346	14,604,317	176,029	4,725,804	14,326,441	14,078,098	248,343	7,371,401

単位未満四捨五入、端数調整せず

別表2 ◇貸借対照表◇

平成31年3月31日現在　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
流動資産	6,030,069	流動負債	1,996,908
現金預金	3,286,631	事業未払金	363,359
事業未収金	2,223,812	1年以内返済予定借入金	232,100
その他の流動資産	519,626	その他の流動負債	1,401,449
固定資産	16,253,960	固定負債	2,777,501
基本財産	11,847,066	設備資金借入金	2,459,904
土地	201,427	長期運営資金借入金	18,384
建物	11,560,736	その他の固定負債	299,213
権利	84,903	負債の部合計	4,774,409
その他の固定資産	4,406,894	純資産の部	
土地	180,352	基本金	2,582,928
建物	881,989	国庫補助金等特別積立金	5,467,350
構築物	550,056	その他の積立金	2,087,941
器具及び備品	183,486		
有形リース資産	366,684	次期繰越活動増減差額	7,371,401
積立資産	2,087,941	（うち当期活動増減差額）	163,448
その他の固定資産	156,386	純資産の部合計	17,509,620
資産の部合計	22,284,029	負債及び純資産の部合計	22,284,029

単位未満四捨五入、端数調整せず

別表3 ◇財産目録◇

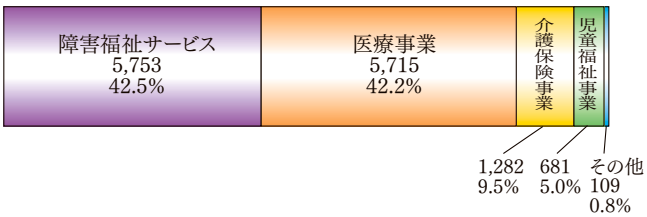
平成31年3月31日現在　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
1.流動資産	6,030,069	1.流動負債	1,996,908
2.固定資産	16,253,960	2.固定負債	2,777,501
基本財産	11,847,066		
その他の固定資産	4,406,894		
資産合計	22,284,029	負債合計	4,774,409
		差引純資産	17,509,620

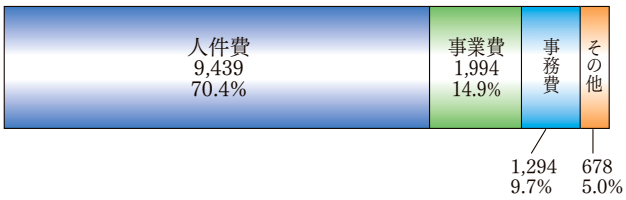
単位未満四捨五入、端数調整せず

別表4 ◇事業活動内訳表（科目別）◇

《収益》総額13,540（100％）（単位：百万円）



《費用》総額13,405（100％）（単位：百万円）



「ふくのいち―旭川荘写真・作品展」開催 川崎医科大学附属病院

障害のある人たちが手掛けた製品やアート作品を通して、福祉現場の活動や法人の取り組みを紹介する「ふくのいち―旭川荘写真・作品展」が6月3日から7日まで、川崎医科大学附属病院（倉敷市松島）で開催されました。

「ふくのいち」は福祉と幸福に共通する「ふく（福）」と「いち（市）」を合わせた呼び名で、昨年度から旭川荘製品の販売イベントで使用しています。写真・作品展でも数多くの製品を販売していることもあり、本年度から「ふくのいち」をタイトルに冠した名称となりました。

今回は12施設のハンドメイド製品約2,500点を販売。リピーターの多いそば殻の枕や乾燥しいたけ、クッキー、パウンドケーキなどの菓子が次々と売れ、キーホルダーや髪飾り、袋物、小さなほうきなどの雑貨も好評でした。また、イベント直前に地元紙で紹介された水引細工のアクセサリーも来場者の注目を集めました。

会場の一角には「旭川荘アートギャラリー」の絵画21点と立体作品3組（13点）を展示。姫路城のある街の風景の中に無数のチューリップを描いた緻密な表現の水彩画や、粘土の小片を球状に固めた大小のオブジェなどもあり、買い物を終えた人たちが熱心に鑑賞する姿も見られました。

写真付きのPOPで一押し製品をPR

個性あふれる作品が並ぶアートギャラリーのコーナー

会場では各施設の自慢の製品を販売

製品カタログ「ぎおんの杜から…」完成 6年ぶりに大幅改訂

旭川荘の施設で作られた“おすすめ製品”をPRするカタログ「ぎおんの杜から…」が内容を一新し、このほど完成しました。

2013年3月に発行した旧カタログの改訂版として、モノづくりに取り組む12施設（就労支援8施設、生活介護4施設）が参加する「ぎおんの杜会議」（旧・製品販売促進プロジェクトチーム）が企画。企画広報室で撮影・編集作業を行いました。

カタログは、木製地図パズルや積み木などの「木のモノ」、イノシシ革を使った「革のモノ」、祇園窯で焼成したカップなどの「陶のモノ」といった種類に分けて掲載。結び織マットや切り絵などの手工芸品、ストラップやアクセサリーなどの手作り小物、農産加工品、菓子も含め約50製品を、制作（生産）に携わる人たちの手元のカット写真を交えながら紹介しています。

A5判、16ページ、オールカラー。12施設のほかサービスセンター、旭川荘資料館などで配布しています。問い合わせは企画広報室まで。

内容を一新した旭川荘の製品カタログ「ぎおんの杜から…」

＜カタログ参加12施設＞

吉備ワークホーム、あおば、望の丘ワークセンター、松山ワークセンター、いんべ通園センター、せとうち旭川荘、わかば寮、真庭地域センター、愛育寮、竜ノ口寮、いづみ寮、かえで寮

えいごde福祉 ～生活表現～ 28

防災①

梅雨の時期に入り昨年の豪雨災害が思い出されます。今月は火災と水害を中心に防災関係の表現を集めました。

（災害に）備えるはprepare、（人命を）守るはprotectが使われているようです。

Are you prepared in the event of a disaster?　あなたは災害への備えをしていますか。

※岡山市ホームページ英文より

We should be prepared to deal with a disaster.　私たちは災害に対処する備えをしておくべきである。

※岡山市ホームページ英文を改変

The fire department protect the lives of the people from fires.　消防署（局）は火災から人命を守る。

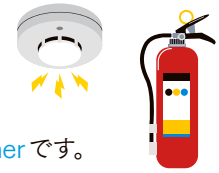
※アメリカの消防ホームページより

電話で通報する場合callが使われています。

One of our staff members immediately called the fire department.

スタッフの一人がすぐに消防署に電話で通報した。

火災に対しての代表的な設備である火災報知器はfire alarm 、消火器はfire-extinguisherです。



次は、大雨・台風・洪水に関する表現です。

This area experienced heavy rain last week.　この地域は先週大雨が降った。

The area was hit by a typhoon.　その地域は台風に襲われた。

The river is in flood as a result of a typhoon.　台風の結果、川が洪水になっている。

experienceは人が経験したことだけでなく、国や地域としての経験を表現するときにも使われ、経済関係の英文記事ではOur nation has experienced economic growth.（わが国は経済成長を遂げた）という文に出会うことがあります。

（広報委員・総合研究所医療福祉センター　後藤祐之）

リレーコラム

感情的な満足

現在、企業では自社のサービスの満足度を上げるために、様々な取り組みを行っています。ただ、上質な品質の追求や丁寧な対応など、一般的な顧客満足度を高めるだけでは、企業の業績を高めるには貢献しないそうです。理由として、「顧客満足」には「理性的満足」と「感情的満足」があり、後者の満足でないと意味がないとのことです。

「〇〇というサービスに満足していますか」という問いに対し、「大変満足している」と答えた顧客を「理性的に満足」している顧客と「感情的に満足」している顧客に分けると、「感情的に満足」している顧客は、解約率は低く、一人当たりの購入金額や購買頻度が非常に高いそうです。この傾向は産業材、消費財、モノ、サービスであろうが変わらないそうです。「〇〇の製品やコンセプトが大好き。これがない生活は考えられない！」という熱烈なファンは強い熱量をもって他者に「想い」を伝え、広がります。一方、顧客を「機能の優位性」、つまり理性的に満足させても、その人は機能面で優位な、また、価格の安い他のサービスに乗り換えてしまいます。もちろんサービスの質が高水準であることは必要ですが、応援したいと思わせるような「想い」の発信は非常に大事であり、理性と感情は両輪であると言えます。

これは福祉業界も同様であると考えます。専門的で根拠のある技法やマニュアルに基づいた確かな手順、目新しい取り組みなど、質の高い支援方法の追求に目が行きがちですが、もっと支援者自身や相手に対する感情の取り扱いについて注目していく必要があります。あのスタッフさんだと安心して預けられる、あの管理者さんの考えは共感できる、このような人の「想い」が積み重なることで人の心を温め、福祉は本当の力を発揮するのではないでしょうか。

（広報委員　長壽厚志）

祇園・ひらたで春の清掃奉仕

岡山南ロータリークラブの皆さんによる清掃奉仕活動が5月19日、祇園地区で行われ、ナカシマプロペラなどの会員企業のほか、旭川荘職員や厚生専門学院の学生ら約700人が参加しました。それぞれ15カ所に分かれ草刈機や高所作業車なども使い、除草や剪定に汗を流しました。同クラブによる清掃活動は平成7年に始まり、今年で25年目になります。

ゆずりはの森を清掃する岡山南RCの皆さん

また同日、ひらた旭川荘では中電工と関連企業の皆さん、ひらた旭川荘の職員約80人が清掃活動に取り組みました。

高木が多いひらた旭川荘では
高所作業車が大活躍した

高所作業車11台で主にわかくさ学園南側の木々を剪定。フェンスを越えて隣接する道へ伸びている枝を次々と切っていくと、見た目もすっきり。気持ちのよい風が通り抜けるようになりました。

旭川荘ごよみ
SCHEDULE CALENDAR

7月

- 13日 夏祭り …… 南愛媛療育センター
- 18日 ひらた旭川荘盆踊り大会 …… ひらた旭川荘
- 20日 第1回オープンカレッジ…… カレッジ旭川荘
- 25日 第39回夏まつり旭川荘 …… 旭川荘
  ☆旅行・七夕　～各施設

8月

- 1日 つがく親子ふれあい夏まつり …… 津島児童学院
- 7～10日 平川家庭学校 …… 旭川学園
- 10日 第2回オープンカレッジ…… カレッジ旭川荘
- 23日～24日 ふれあいキャンプ…… 旭川学園
  ☆納涼祭・夏季休暇　～各施設

ノウフク野外マルシェに参加 荘内6施設が製品PR

岡山県内の障害者施設で作られた農産加工品などをPRする「ノウフク野外マルシェ」が6月1、2日にJR岡山駅東口駅前広場で開かれ、旭川荘から望の丘ワークセンターなど6施設が参加しました。

高校生ボランティアも
道行く人を呼び込み、販売に協力

マルシェは県内各地で進む農業と福祉の連携を後押ししようと、岡山県が2016年秋から年に2回開催しており6回目。今回も約30団体が集いました。

旭川荘のブースでは、初参加のあおばの水引アクセサリーのほか、望の丘ワークの乾燥しいたけやジャム、真庭地域センターのヒノキ製品、吉備ワークホームのイノシシ革グッズ、わかば寮・松山ワークセンターで焼いた各種クッキーなど、マルシェでおなじみの製品を販売。担当の職員が利用者の関わりに触れながら各製品の良さを説明し、買い物客らも福祉現場の取り組みに関心を寄せていました。

「食と健康の祭典」にも出店 吉備ワークなど4施設

表町商店街（岡山市北区表町）を会場にした地域おこしイベント「食と健康の祭典おかやま」が5月12日に初めて開催され、旭川荘も出店。吉備ワークホームなど4施設の製品を販売しました。

雑貨や農産加工品が並ぶ旭川荘のテント。
家族連れの注目を集めた

表町青年部や若手医師の会などでつくる実行委員会が企画。時計台周辺のアーケード内にグルメやヘルスケア、農産物販売のテントが並び、多くの家族連れなどでにぎわいました。

旭川荘のテントには吉備ワークと望の丘ワークセンター、わかば寮、松山ワークセンターのおすすめ製品をずらりと陳列。訪れた人たちに試食のクッキーやおから茶をすすめながら、法人の活動をPRしました。

編集後記

6年ぶりに製品カタログ「ぎおんの杜から…」を改訂しました。前回より各施設の製品も、パッケージも、スマートでお洒落になったように感じます。制作に携わる利用者さんの頑張りと、支援スタッフの創意工夫が新たなオリジナル製品を生み、クオリティを支えています。カタログは荘内で配布しています（6面参照）。ぜひ一度、手に取ってみてください。

（広報委員　難波久江）